



調教捜査官 井内利彰による『調教動画診断』公開!!

現在、ホームページ内にて募集馬の最新調教動画(3月下旬撮影)を公開しております。その動画を“調教捜査官”井内利彰氏が診断し、原稿にまとめたものを掲載いたします。ぜひ調教動画と併せてご覧いただき、募集馬へのご出資にお役立てください。

2302 ラストメッセージの2023

杜 栗毛 2月28日生 生産：千代田牧場
父 ミスターメロディ 母の父 ジャングルポケット 美浦・古賀慎明厩舎予定

1口価格：40,000円(税込)

ファンスタクラブ在厩

井内利彰の調教動画診断

坂路を駆ける脚捌きも良く、このまま順調なら楽しみ。馬体のスタイル次第では、中距離でも活躍の可能性。

3月のレポートでは馬体重が454kg。ただ、歩く姿や走る姿を見ると、それ以上の数字に見える体です。その理由ははっきりしていて、バランスが良い歩きや走りをしているから。特に坂路を駆け上がってくる時の脚捌きはきれいで、あとは上体にもっとしっかりとした筋肉が付いてくれば、力強さも加わってくるでしょう。メンコやハミの効果もあるのかも知れませんが、すごいいいポジションに頭があって走ることができていますので、このまま順調に進んで欲しいと感じています。ミスターメロディは現役時代に高松宮記念を勝っていて、スプリンターのイメージがあると思いますが、馬体のシルエットが肢長だと中距離が適距離という場合もあります。相沢郁厩舎の現3歳、ハルノアラシはミスターメロディ産駒ですが、勝ち上がりは中山ダート1800m。でも使い出しは福島ダート1150mでしたから、血統的なイメージよりも馬体からイメージできる距離適性を優先する方がよいかも知れません。暖かくなるにつれて調教のピッチも上がっているようですし、これからの動きが楽しみ。ちなみに、ききょうSを勝ったスリールミニオン、クロッカスSを勝ったクラスベディアは、どちらも栗東トレセンで追い切りが抜群に動く馬。トレセンに入厩してからの追い切りは出資検討の材料にはできませんが、現時点でそういった楽しみのある状態まで進んでいること自体が魅力ではないでしょうか。

2303 ミカエリビジンの2023

杜 鹿毛 1月30日生 生産：幌村牧場
父 ホッコータルマエ 母の父 ハービンジャー 美浦・田中剛厩舎予定

1口価格：36,000円(税込)

武田ステーブル在厩

井内利彰の調教動画診断

左前の独特な走法は成長と共にバランスが整うはず。好馬体、待望の牡馬、大成へパワーが武器になる。

今回の調教映像で真っ先に目につくのは、左前の独特なスナップ。フラットワークの時点で大きく外へ振りながら走っています。それによって、上体のバランスに気になるところがあるというわけではないので、この時点では問題ないかなと思いましたが。ただ、坂路を駆け上がってくる姿を見ると、左前のことがあって、うまく推進できていないのかなというのが正直なところでした。あらためて、1歳10月の調教映像と見比べてみると、この時点では少し左前が気になるという程度。今回こそが目立ちたいという事は、やはり力が付いてきたからこそ、左前の独特な走法になってきているように感じます。3月のレポートにあるように、飛躍的に体力が付いてきたということですから、確実に成長はしているのでしょうか。もしくは2月のレポートに右前脚をぶつけたということが報告されていて、もしかするとそれが左前の極端な振りになっているのかも知れません。どちらにせよ、これからの体の成長とともに両前のバランスが整ってくれば、もっと推進力のある走りができると思いますし、ある程度の馬体重がある馬ですから、それによってパワーのある走りもできるはず。姉は牝馬ばかりで今回が待望の牡馬。予定を早めてBTCの坂路を乗っているくらいですから、調教の強化に伴い、体も成長してくれば、これからは楽しみに先づけることは間違いないでしょう。

2304 スカイブルーダイヤの2023

杜 鹿毛 2月25日生 生産：前田ファーム
父 エスポワールシチー 母の父 ロードカナロア 美浦・上原博之厩舎予定

1口価格：30,000円(税込)

吉澤ステーブル在厩

井内利彰の調教動画診断

良い意味で母系の血統背景と未来像が重なってくる。坂路の動きからも高いレベルを感じ大舞台へも期待。

エスポワールシチー産駒にしては肢が長い、フレームが大きい。初見でそのように感じましたが、血統表を見て納得。母系にタスカータソルテがいるプリアノカット(父ノーザンテスト)の血統なのですね。見た目から感じるスケールの大きさに血統的背景があるとすれば、申し込み状況がまもなく満口という状況も当然でしょう。浦河の吉澤ステーブルでの育成ということでもたくさんの馬の中での調教にも慣れている様子。縦列でのキャンターもしっかりこなすことができているし、走っている時のバランスはかなり良いと思います。そして、坂路を駆け上がってくる時も肢をまっすぐに振り出すことができている、こちらもバランスの良さが目立ちます。併走した相手が少し頼りなさすぎて余計にこちらが優秀に見えるというギャップがあることは忘れてはいけません。きっと吉澤ステーブルの育成馬の中でも高いレベルに位置するような動きなんだと思います。レポートによると1月以降、着々と馬体重が増え、これからは競走馬として逞しさを増していくことでしょう。そして入厩先が上原博之厩舎。トレセンではしっかり時計を出して、スピードある動きを見せてくれる調教映像がイメージできます。今後の調整次第ではクラシック戦線を見据えることもできそうです。そんな、今からワクワクするような動きを見せてくれる馬、血統的背景もしっかりしている馬が1口30,000円って安すぎませんか(笑)。

2305 ケープタウンシチーの2023

牝 黒鹿毛 3月27日生 生産：幌村牧場
父 サトノクラウン 母の父 シンボリクリスエス 美浦・栗田徹厩舎予定

1口価格：28,000円(税込)

シュウジテイファーム在厩

井内利彰の調教動画診断

現状の課題は馬体重も、バランスの良い走りに高い素質。成長力次第では、軽い芝で瞬発力を活かして活躍できる。

シュウジテイファームで順調に追い切りを消化しているというのはレポートからも分かりますが、やっぱり気になるのは馬体重。全体的なフレームの小さいところは仕方ないと思いますが、前から見た時の薄さはちょっと気になります。ただ、小さいなりにバランスよく歩き、バランスよく走っているのは間違いありません。ダート馬場でのキャンターを見ていると、深くて重そうなダートに自然と減速させられてしまう非力さは目立ってしまいますが、坂路でのキャンターはなかなかしっかりと駆け上がっています。サトノクラウン産駒といえば、ダービー馬タスティエーラを筆頭にいろんなタイプがいると思いますが、小柄な牝馬で思い出すのはウヴァロヴァイト。母父サンデーサイレンスでデビュー時の体重が434kg、東京芝1600mの赤松賞では33.3秒の上がりを使って3着でした。それに倣うように、軽い芝で瞬発力勝負なら、というタイプに成長していくのかも知れません。半姉ロジーナはキズナ産駒ということもあって、2歳になって一気に馬体重が増えてきましたが、こちらもせめて400kgくらいまでは数字が乗って欲しいところ。ロジーナは3勝クラスを勝ち切ることができませんでしたが、常に終いの脚が目立つような競馬をしていた馬。そのあたりは似たタイプになりそうな気がします。ポテンシャルの高い馬が多いケープタウンシチーの子ですから、それに合合った体で成長してくれるかどうか。その点がこれからの課題なのかも知れません。

2306 マリアネージュの2023

牝 栗毛 4月5日生 生産：カタオカファーム
父 イスラボニータ 母の父 ゴールドシップ 美浦・金成貴史厩舎予定

1口価格：28,000円(税込)

エクワインレーシング在厩

井内利彰の調教動画診断

力強さを感じる登坂、走ってくる馬の雰囲気にも惹かれる。躍進への課題は馬体増か、今後の推移が最も気になる1頭。

調教馬場へ向かっていく時からカメラを意識するような歩きで、すごく雰囲気を感じることができます。半妹マリアブーケのこの時期の調教診断では飼葉食も細くて、まだまだこれから馬が良くなっていく段階だったようですが、こちらは3月に入って調教のピッチを上げているようです。坂路を駆け上がってくる姿を見ても、チップをしっかりと蹴り上げていて、この馬なりの力強さは感じます。また、調教が終わった後の息遣いに関してもその様子を見るかぎり、まだ楽なところがありそうで好感が持てます。調教が終わった後もカメラを意識していて、競走馬に必要なセンスはありそうです。ただ、3月時点でのレポートでは馬体重が415kg。マリアブーケのデビュー時の馬体重が438kgですから、調教を進めたことによる馬体減だったとしても、ここから調教のピッチを上げつつ、飼葉もしっかりと食べて実にかけていかないと、姉と同じような時期のデビューになってしまうかも知れません。このあたりは気候も暖かくなってくるようなから1、2ヶ月の調教次第だと思います。気になっている方は逐一、レポートを確認して、どのような調教を進める、どのような馬体の推移がなっているかで、出資の基準を決めてもらうのがよいかも知れません。ちなみに2月のレポートで「450kg台には乗ってきそう」という具体的な数字が出ていますから、直接管理している方のイメージは重要だと思います。

2331 ソムニアシチーの2023

牝 栗毛 2月24日生 生産：カタオカファーム
父 レイデオロ 母の父 メイショウサムソン 栗東・奥村豊厩舎予定

1口価格：48,000円(税込)

富田ステーブル在厩

井内利彰の調教動画診断

半兄プレリウドとは異なり前向きな気性が個性に。坂路を駆ける姿に非力さはなく、スピードを活かしたい。

半兄プレリウドシチー(父ハービンジャー)は京都2歳Sでシンエンペラーの2着、当時の4着馬がダービー馬ダノンデサイルという凄腕実績があります。ゆえに期待が大きくなるころですが、性別が牝馬になり、父がレイデオロに替わったことでタイプは少し違うのかなと思います。プレリウドの調教診断では「本馬の初見で感じたのは、少し気持が良いところ。(中略)調教馬場へ向かっていく時にカメラを少し気にしながら顔をそろすところなんかを見ると、少し気持が良いが穏やかなのかなと思います」と記したのですが、これが良い方に向いたのでしょうか。芝2000mでデビューするような落ち着いた気性に育ったわけですが、こちらは前向きな気性の産駒が多いレイデオロ。調教馬場へ向かう時も、調教が終わってからも、活発な歩きが目立ちます。3月時点のレポートによると、馬体重は400kgそこそこ。ただ、坂路を駆け上がってくる姿に非力さはなく、この体なりにしっかりと走ることができているように思います。馬体重に関してはここから急激に増えることはないでしょうから、タイプとしてはヴァンクールシチー(父ドゥラメンテ・デビュー戦414kg)のようなスピードを武器にして戦っていくイメージが湧きます。ヴァンクールはデビュー戦が新潟芝1400mを2番手で先行したように、芝のスピードタイプでした。前向きな気性が走る方へ集中する成長に繋がれば、勝利を挙げる期待が持てそうです。

2332 アルポルトの2023

杜 黒鹿毛 1月16日生 生産：桑田牧場
父 ルヴァンスレーヴ 母の父 ルーラーシップ 栗東・西園翔太厩舎予定

1口価格：48,000円(税込)

チャンピオンズファーム在厩

井内利彰の調教動画診断

走りや歩きのベストバランスを体現、魅力だらけの存在感。順調なら「ダート三冠」路線を視野に活躍できるはず。

もう少し肢長なら、大好きなシルエットというのが正直なところ。でも、個人的に感じるウィークポイントはそれだけで、他はクラブ2歳馬の中でトップクラスだと思います。昨年、西園翔太調教師にインタビューした際「垢抜けした馬体」とお聞きしましたが、まさにそんなタイプ。今は調教のピッチが上がっていているので、もっともっと内側から張りが出てくるのだらうと思いますが、それでも1ヵ月毎のレポートで確実に馬体重が増えているところは魅力でしかありません。そして何より、歩く時、走る時のバランスがよいですね。坂路を駆け上がってくる時の頭の位置もベストだと思います。坂路でのピッチが少しずつ上がっているようですが、それによってバランスを崩すことなく駆け上がることができています。また、体幹もしっかりとつながっているようで、映像を通して見る表情からはどんなこともなく駆け上がることできるようなあたり、ダートでの活躍馬が圧倒的に多いルヴァンスレーヴ産駒ですが、パワーというよりもスピードがあるタイプが着実に勝ち上がりつつあるというのが個人的な印象。そういった意味では本馬もスピードがあるタイプだと思いますし、産駒の牡馬で活躍している体重のゾーンにしっかりと収まってきそうな成長を見せている点も好感。このまま順調に進んでいけば、来春のダート三冠だって視野に入ってくるような活躍が期待できるのではないのでしょうか。

2333 マートンパークの2023

杜 鹿毛 3月8日生 生産：下河辺牧場
父 モズアスコット 母の父 フレンチデピュティ 栗東・牧田和弥厩舎予定

1口価格：44,000円(税込)

No.9ホーストレーニングメッド在厩

井内利彰の調教動画診断

トレセン入厩後に微調整し、より良い走りを会得したい。気性も馬体の強度も問題なく、注目のモズアスコット産駒。

出資申し込みの状況を確認(3月18日時点)すると満口まであと少しという状況のようです。近況報告を見るかぎり、こまめで順調に進んでいて、早い時期に栗東への入厩ということもありそう。馬体重も490kg前後で、走り頃な体だと考えますが、まさにそんなタイプ。今は調教のピッチが上がっていているので、もっともっと内側から張りが出てくるのだらうと思いますが、それでも1ヵ月毎のレポートで確実に馬体重が増えているところは魅力でしかありません。そして何より、歩く時、走る時のバランスがよいですね。坂路を駆け上がってくる時の頭の位置もベストだと思います。坂路でのピッチが少しずつ上がっているようですが、それによってバランスを崩すことなく駆け上がることができています。また、体幹もしっかりとつながっているようで、映像を通して見る表情からはどんなこともなく駆け上がることできるようなあたり、ダートでの活躍馬が圧倒的に多いルヴァンスレーヴ産駒ですが、パワーというよりもスピードがあるタイプが着実に勝ち上がりつつあるというのが個人的な印象。そういった意味では本馬もスピードがあるタイプだと思いますし、産駒の牡馬で活躍している体重のゾーンにしっかりと収まってきそうな成長を見せている点も好感。このまま順調に進んでいけば、来春のダート三冠だって視野に入ってくるような活躍が期待できるのではないのでしょうか。

2335 ラフィネシチーの2023

牝 黒鹿毛 4月25日生 生産：幌村牧場
父 ドレフォン 母の父 ゴールドアリュール 栗東・岡田稲男厩舎予定

1口価格：36,000円(税込)

武田ステーブル在厩

井内利彰の調教動画診断

姉姉を超える資質、芝に対応できるイメージも湧く。乗り込みを継続する中で、力強さを備えてデビューへ。

半姉コロラフィネ、半兄マーベリックシチーは調教診断で高い評価をしていました。思ったほど結果を残すことができていない感じもありますが、マーベリックシチーに関してはきっかけを掴めば、上のクラスへ勝ち上がる能力があるはず。それ相当、いやそれ以上の潜在的な能力を本馬に感じています。ただ現状では馬体重の割に力がないところが気がかり。3月のレポートで459kgとありますが、坂路を上がってくる映像では、併せた相手を頼りにしながら走っているところが随所に見られます。気持ち前向きなので、良い走りには見えるのですが、そこに体がついてきていないという印象。でも、これに関しては2月に裂蹄でしばらく休んだことも影響しているかも知れません。これから調教を進めていけば、力は自ずと付いてくるはず。飼葉を食って、馬体重が増えてきているという現状はやはり心強いと思います。このあたりは前向きな気性と父がドレフォンに比べて、姉姉よりも芝に対応するスピードが発揮できるイメージも湧きます。このあたりは繋がりや経過を父と比べてみて、少しく寝てきている点を要因として、ここに記しているの、そのあたりがどのような変化を見せていくかということにも注目してみたいですね。また、芝・ダート、短距離や長距離など条件を問わず、いろんなタイプの活躍馬がいるドレフォン産駒ですから、これからの成長次第で本馬の最適な活躍の舞台は変わってくると思います。相対的には期待していい1頭に変わりありません。